

砂子谷周辺

南砺市砂子谷周辺の地層が見られる露頭

南砺市で堆積岩層が多く見られる地域は、西部の石川県境に集中しています。旧福野町の安居地域から低い山並みが南へ伸びていますが、医王山の手前の土山地域までの低い山塊はほとんどが堆積岩からなります。中でも国道304号線沿いにある砂子谷周辺では、道沿いに泥岩層や砂岩層が観察できる露頭が多くあります。残念ながら、化石を大量に含む地層はあまり多くありませんが、アクセスがよく、観察に便利です。旧福光西部小学校周辺では、高窪から人母への旧道沿い（泥岩と砂岩。人母に近づくと、貝の化石をわずかに含む地層もある。）や上砂子谷北方の切り通し（主として軽石を多く含んだ火山灰）、鳥越北方の新道沿いの露頭が観察に適しています。なお、地層の観察ができる露頭を地図の矢印の場所に示しました。

上砂子谷北方の高窪層（新第三紀中新世後期～鮮新世前期）

